



カモ類は、夏は北の国で過ごし、冬に南へ渡って、日本各地の湖などで越冬します。コハクチョウやマガンの繁殖地は、はるか遠くの東シベリア海やオホーツク海の沿岸にあり、数千キロも移動してきています。一方でカルガモの中には、北の国へ渡らず、河北潟近辺で繁殖する個体もみられます。



A close-up photograph of a white swan, likely a Mute Swan, sitting in a field of tall, dry grass. The swan has a bright yellow beak and a characteristic black patch on its throat. It is looking slightly to the left. In the background, another white swan is partially visible, also in the grass.

A wide-angle photograph of a vast, flat green field, likely a meadow or pasture, under a bright blue sky filled with scattered white clouds. A dark, dense line of trees marks the horizon in the distance. The field is covered in low-lying green vegetation, and the overall scene is bright and open.

サカツラガン (マガン属)  
 ヒシクイ (マガン属)  
 ハイイロガン (マガン属)  
 マガン (マガン属)  
 カリガネ (マガン属)  
 ハクガン (マガン属)  
 コクガン (コクガン属)  
 コハクチョウ (ハクチョウ属)  
 オオハクチョウ (ハクチョウ属)  
 ツクシガモ (ツクシガモ属)  
 アカツクシガモ (ツクシガモ属)  
 オシドリ (オシドリ属)  
 オカヨシガモ (マガモ属)  
 ヨシガモ (マガモ属)  
 ヒドリガモ (マガモ属)  
 アメリカヒドリ (マガモ属)  
 マガモ (マガモ属)  
 カルガモ (マガモ属)  
 ハシビロガモ (マガモ属)  
 オナガガモ (マガモ属)  
 シマアジ (マガモ属)  
 トモエガモ (マガモ属)  
 コガモ (マガモ属)  
 アカハシハジロ (アカハシハジロ属)  
 ホシハジロ (スズガモ属)  
 アカハジロ (スズガモ属)  
 キンクロハジロ (スズガモ属)  
 スズガモ (スズガモ属)  
 シノリガモ (シノリガモ属)  
 ビロードキンクロ (ビロードキンクロ属)  
 クロガモ (ビロードキンクロ属)  
 ホオジロガモ (ホオジロガモ属)  
 ミコアイサ (ミコアイサ属)  
 カワアイサ (ウミアイサ属)  
 ウミアイサ (ウミアイサ属)

カモ類をはじめ、季節移動する習性をもつ「渡り鳥」にとって、湿地は重要な生息環境です。河北潟は、「日本の重要湿地」に選ばれています。これは、生物多様性の観点から、重要度の高い湿地として、環境省により選定されているものです。河北潟の選定理由として、おもに4つの点があげられています。

- 1) 春秋の渡り期の種数・個体数が多いこと、チュウシャクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、ツバメチドリ、オオジシギなど、シギ・チドリ類の渡来地であること
- 2) チュウヒの繁殖地であること
- 3) コハクチョウ、マガン、 マガモ、ヒドリガモ、トモエガモ、コガモなど、ガンカモ類の渡来地で個体数が多いこと
- 4) エサキアメンボの生息地であること



2018年3月発行

〒929-0328 石川県河北郡津幡町字湖東 395      Tel 076-288-4424      E-mail qa@k-kantaku.com  
制作 NPO法人河北潟湖沼研究所      <http://kahokugata.sakura.ne.jp/fram.html>

# もぐらない <sup>たんすい</sup> 淡水ガモ

カモには、水中にもぐらないカモと、もぐるカモがいます。

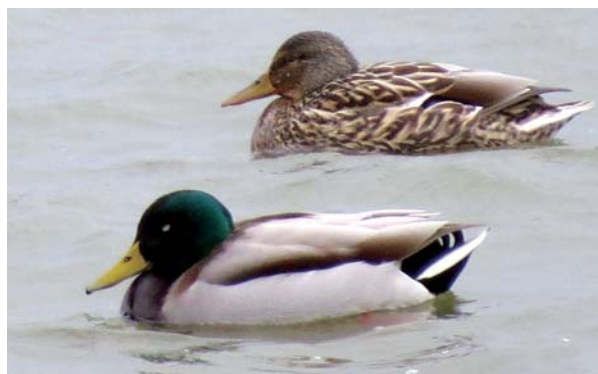


ヨシガモ

NT 減



ヒドリガモ



マガモ



カルガモ



ハシビロガモ



コガモ

潜水しないカモのことを、「淡水ガモ」や「水面採餌性カモ類」などとよんだりします。水面近くで嘴をしきりに動かす姿がみられますが、嘴に細かい櫛状の突起があり、水中のプランクトンなどを「ろ過」して食べることができます。潜水できないものの、水中や水底にある水草などを食べようとして、水面で逆立ちして食べるカモ類もいます。陸上を歩くことができ、草を食べることもあります。植物の種子や水草を採食します。夜に河北潟干拓地の蓮田や麦畑や水田に飛来するのは、淡水ガモのなかまです。

# もぐる <sup>せんすい</sup> 潜水ガモ

レッドリスト掲載種

凡例 レッドリストランク

NT 準絶滅危惧／石川県指定

減 減少／河北潟レッドリスト



カワアイサ

NT 減

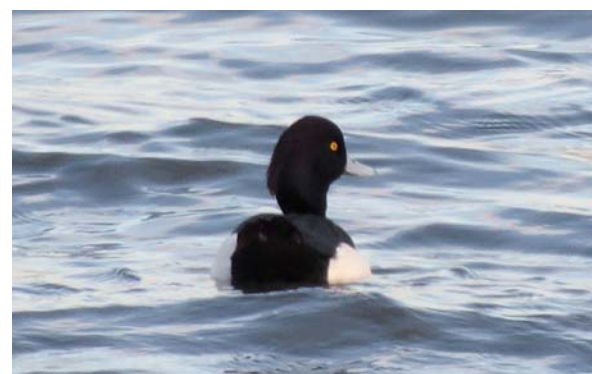
おもに魚類を採食します。



ミコアイサ

NT

魚類や貝類、甲殻類などを採食します。

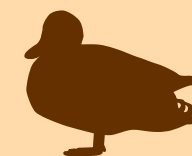


キンクロハジロ

貝類や甲殻類、水生昆虫や水草などを採食します。

## 淡水ガモ

- ・足がまんなかにある
- ・水面上でもすぐに飛び立つことができる（直接飛び立ち）。



## 潜水ガモ

- ・足が後ろのほうにある
- ・水面上を助走して飛び立つ（助走飛び立ち）。



「淡水ガモ」は、体の中央付近に足があり、陸上を歩くことができますが、「潜水ガモ」は、体の後方に足があり、水をけて泳ぐことには便利ですが、陸上を歩くことは苦手です。

子ども科学図書館「これがカモ！」を参考に作成

## マガモ1羽がレンコンを食べるところを観察



2018年2月9日撮影

カモが一体どのようにレンコンを食べるのか、赤外線望遠鏡で観察することができました。行動を観察することで、食害を軽減させる有効な対策が見つかるかもしれません。観察の概況をお伝えします。

- ・日没時刻 17:27、観察圃場への飛来時刻 18:11 ～
- ・18:40 頃、マガモの雄が雪の割れ目から嘴が届く範囲をさぐり、嘴の長さ程度の細いレンコンをつまみ出す。（このときカモの目が雪の下に隠れることはなかった。）
- ・マガモ雄はつまみ出したレンコンを食べようとするものの、数分かけても飲み込むことができず、その後横取りされる。
- ・雄が食べようとしていたレンコンを、マガモの雌が横取りし、その後 10 秒ほどで飲み込む。
- ・圃場に飛来した 36 羽のうちレンコンを食べようとする動きが明確に確認されたのは 2 羽のみで、多くは水面近くを嘴で細かく動かして採餌する行動であった。